令和 5 年度

授業概要

SYLLABUS

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	生命倫理			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	松村　一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験の内容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標（GIO）	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
行動目標（SBOs）	講義毎に実施する課題レポート及び小論文試験（筆記試験）の合計で評価を行う。				
授業概要	1　生命 2　健康と病気 3　老いる 4　死と安楽死 5　医学と医療 6　医療事故 7　最先端医療 8　小論文の書き方 9　小論文の書き方 10　倫理				
学習方略（LS）	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価（EV）	講義毎に実施する課題レポート及び小論文試験（筆記試験）の合計で評価を行う。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	系統看護学講座　医療概論　　医学書院				
参考書	配布する資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	心理学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回　（ 15 時間）
担当教員 mail	下舘 浩 0		実務経験 の 内 容	理学療法士（荻野病院、容生会、愛育会）	
一般目標 （GIO）	・人の心について、知る。 ・心はわかりきることができないという事を解る。 ・心の深さを感じる。				
行動目標 （SBOs）	・心理学についての概略を知る。 ・病理心理について理解する。 ・心療内科と精神科の対象の別を理解する。 ・心理テストを経験する。				
授業概要	1.　心について 2.　意識と無意識 3.　防衛機制 4.　病理心理 5.　心療内科と精神科の違い 6.　心理療法 7～8. 心理テストの実技体験 以上を知る。				
学習方略 （LS）	・学生それぞれの実体験を引用しつつ、心理学を理解できるよう講義する。 ・心理テストは、YG 検査を体験する。				
学習評価 （EV）	・期末試験は筆記で行う。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・『はじめて出会う心理学』 有斐閣アルマ				
参考書	（特に指定しない）				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	教育学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回　（ 15 時間）
担当教員 mail	千葉　壽夫 0		実務経験 の 内 容	理学療法士（岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院）	
一般目標 （GIO）	教育の本質、目的、内容、方法、制度、行政など、教育現象のさまざまな分野・問題について学習し、教育現象の全体的構造を統一的に「教育人間学」として把握する。				
行動目標 （SBOs）	1. 高等教育での自らの人間学の向上に役立てる。 2. 教育の場において、自分自身を客観的に理解することが出来る。 3. 社会教育、医学教育の理解を深める。				
授業概要	【 講義予定 】 1. オリエンテーション、教育学概要 「教育・指導」 2. 教育学的観点から、自分を顧みる 「人間と社会」 3. 人間の本性そのものが教育を必要としている 「教えると伝える」 4. 人間は、「生理的未熟児」 5. 教育とは、社会の維持と存続のための機能 「学校教育構造と不登校問題」 6. 読む力　想像する力　表現する力 7. グループディスカッション・プレゼンテーション 8. まとめ、レポート				
学習方略 （LS）	グループ、および個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 （EV）	課題レポートとグループディスカッション、プレゼンテーションで総評する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	教育学原論（教育の本質と目的）　牛渡　淳　著　「中央法規」				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	社会学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回　（ 15 時間）
担当教員 mail	千葉　壽夫 0		実務経験 の 内 容	理学療法士（岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院）	
一般目標 （GIO）	一般社会の仕組みを理解しながら、様々な視点で物事を捉える力を身につける。				
行動目標 （SBOs）	1. 社会について学び、自分もその一員であることを理解する。 2. 現代社会の特性を理解する。 3. 生活の多様性について理解する。 4. 人と社会の関係について理解する。 5. 社会問題とその背景について理解する。				
授業概要	社会の捉え方、視点の持ち方を学び、PT としての在り方を考える。 1. 社会学の歴史と社会システム 2. 組織と集団　人口・グローバリゼーション 3. 社会変動・地域・環境 4. 社会的格差・社会政策・社会問題 5. 差別と偏見・災害と復興 6. 家族とジェンダー・健康・労働・世代 7. 自己と他者・社会化 8. 相互行為・まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 （EV）	提出物および取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし 資料を配布				
参考書	適宜紹介する。				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	法　学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　　後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回　（ 15 時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	社会生活における身近な事例や、理学療法士・リハビリ職が遭遇する事件や法律の事例を挙げながら、自己の考えと他人の考えを理解し、自己の行動思考につなげていく。				
行動目標 （SBOs）	1、法学の基礎的な仕組みと全体構造を他者に説明することができる 2、基本的な法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる 3、経済や経営に関係の深い法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる 4、社会的な問題について、自分の意見を表明することができる				
授業概要	1. ガイダンス、法と人間とのかかわり、法を学ぶ意義 2. 理学療法士に関する法 3. 法とは何か、規範としての法、道徳と区別される法 4. 法体系論の基礎知識、法の種類と構造 5. 法の定義、法律の分類、法規分類 6. 法の解釈、法律の本当の意味 7. 法の効力、範囲と土地と時 8. まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度にて評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし 資料を配布				
参考書	理学療法士ガイドライン（公益社団法人日本理学療法士協会）				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	対人関係論			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回　（ 15 時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	理学療法士に必要なコミュニケーションスキルを身につけてることが出来る。				
行動目標 （SBOs）	相手と良好な関係性を築くという意図をもってなされる、双方向の意思疎通のプロセスができる。				
授業概要	1.社会で働くために必要な力について 2.伝える・伝わるコミュニケーション、コミュニケーションのタイプ 3.コミュニケーションのタイプ 4.コミュニケーションにおける解決と解消 5.職場や臨床現場でのコミュニケーション 6.医療安全のためのコミュニケーション 7.ミーティングのためのコミュニケーション 8.メンタルヘルスとコミュニケーション				
学習方略 （LS）	・基本的には座学で。動画や読書テキストを利用する。				
学習評価 （EV）	・提出物の内容。人について、自分についての理解度の深まりを評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	（不要です）				
参考書	適宜紹介する				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	物　理			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回　（ 15 時間）
担当教員 mail	下舘 浩 0		実務経験 の 内 容	理学療法士（荻野病院、容生会、愛育会）	
一般目標 （GIO）	・理学療法に必要な物理学がわかること。				
行動目標 （SBOs）	下記1～8について説明できる				
授業概要	1. 三角関数 2. 速度と加速度 3. 神経伝導速度 4. 力と仕事 5. ベクトル 6. てこの原理・計算 7. 滑車と輪軸 8. 回転運動のトルクと仕事率				
学習方略 （LS）	・座学、物理学の基礎を主体に講義。				
学習評価 （EV）	・期末試験は、筆記試験とする。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・『PT/OT 国家試験対策ワークブック計算問題』 医歯薬出版株式会社				
参考書	（特に指定しない）				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	情報科学			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回　（ 15 時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	医療人（社会人）が共通に備えておきたいコンピューター操作関連などの基礎的知識を理解していく				
行動目標 （SBOs）	1. コンピューターの基礎的操作やデータの処理等を理解する 2. IT社会の情報を的確に捉えるよう収集できる能力を身に付ける				
授業概要	1. ガイダンス、オリエンテーション 2. データの取扱い【個人、企業情報の保護と注意事項】 3. データの処理法【Excel を用いた処理】 4. コンピューターの基本操作とデータの入力・編集 5. コンピューター 上での文章入力、Windows 上のインターネットブラウザ利用の速やかな操作ができる 6. 文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる① 7. 文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる② 8. 表計算ソフトを使用し、数式や書式設定を応用した表やグラフを作成・操作できる				
学習方略 （LS）	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度で評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし 資料を配布				
参考書	適宜紹介する				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	保健体育Ⅰ			授業区分	実技
学年・時期	1 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	小原　拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（介護老人保健施設シルバー・ヘルス）	
一般目標 （GIO）	スポーツを通じて、身体を動かすことの大切さを学習することができる。				
行動目標 （SBOs）	1. 保健の意義について理解する。 2. 体育及びレクリエーション活動の社会的意義を理解する。 3. 体育及びレクリエーション活動の基本的原則について理解する。 4. 体育指導及びレクリエーション活動援助の実技を通じて計画作成能力・実践能力を習得向上させる。				
授業概要	1 オリエンテーション(スポーツ歴聴取含む) 2 レクリエーション（視覚・聴覚） 3 ラジオ体操 4 バスケットボール 5 フレイル、ロコモ 6 上体起こし、6 分間歩行 7 バレーボール 8 バスケットボール 9 ストレッチングの目的と意義 10 ストレッチングの種類 11 ストレッチングの実際 12 スポーツの種目別特性と外傷・障害 13 スポーツの種目別特性と外傷・障害 14 グループ発表 15 グループ発表 ※身体を動かすことが多いため、各自服装を準備すること。 ※コロナ感染対策のため、活動場所を分散する等しながら実施する。 ※中履き、外履きどちらも準備すること。				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 （EV）	実技 25%、提出物および取組態度 25%、レポート課題および実践発表等 50%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	種目別にみるスポーツ外傷・障害とリハビリテーション				
参考書	適宜紹介する。				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	保健体育Ⅱ			授業区分	演習
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回　（ 15 時間）
担当教員 mail	小原　拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（介護老人保健施設シルバー・ヘルス）	
一般目標 （GIO）	競技特性の理解と特性から見る疾患について把握しする。				
行動目標 （SBOs）	実技およびグループ演習を中心とした講義を実施するため、積極的に参加することを期待する。				
授業概要	1 スポーツトレーニングについて 2 筋力トレーニング① 3 筋力トレーニング② 4 筋力トレーニング③ 5 持久力トレーニング① 6 持久力トレーニング② 7 持久力トレーニング③ ※身体を動かすことが多いため、各自服装を準備すること。 ※コロナ感染対策のため、活動場所を分散する等しながら実施する。 ※中履き、外履きどちらも準備すること。				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、実技にて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 （EV）	実技への参加度および実技グループ演習発表内容による。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	適宜紹介する				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	英　語			授業区分	講義
学年・時期	1 年　　後期	単位	2 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	菊池　敦子 0		実務経験 の 内 容	英語講師（穎川スクールジオス、SAP ジャパン、英会話スクールイーオン、旧大東町教育委員会、米国アーラム大学短期日本語留学コース、英語教室経営）	
一般目標 （GIO）	・医療現場で使用する英語の基礎を習得する				
行動目標 （SBOs）	・医療に関する英語表現を学ぶ。 ・相手の立場に立ったシンプルで分かりやすいコミュニケーションを身につける。				
授業概要	1 オリエンテーション、 UNICEF の英文記事を読む 2 医療現場での基本会話（1） 3 体の部位の名称、問診票 4 骨の瞑想、理学療法士に関する英文を読む 5 筋肉の名称、理学療法士に関する英語を聞き取る 6 傷の種類と症状、基礎的な検査に必要な英語表現 7 精密検査に必要な英語表現 8 リハビリテーションに必要な英語表現 9 院内（校内）の設備を案内する 10 治療（授業）について説明する 11 医療現場での基本会話（2） 12 医療現場での基本会話（3） 13 理学療法に関する英文を読む 14 ロールプレイ（復習） 15 復習とまとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、ロールプレイ、プロジェクトワーク等により実施する。				
学習評価 （EV）	筆記試験70%、取り組み態度30%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし　資料を配布				
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科目名	解剖学Ⅰ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	松村　一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験の内容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	授業は講義、演習を用いて実施する。				
行動目標 （SBOs）	単元ごとに小テストを行い、総合的に評価する。				
授業概要	1 解剖学用語と人体の区分を説明できる 2 頭部・脊柱を構成する骨名を説明できる 3 体幹を構成する骨名を説明できる 4 上肢を構成する骨名を説明できる 5 下肢を構成する骨名を説明できる 6 関節と靭帯のしくみを説明できる 7 頭部・脊柱の関節靭帯を説明できる 8 体幹・上肢・下肢の関節靭帯を説明できる 9 体幹の筋名を説明できる 10 上肢の筋名を説明できる 11 下肢の筋名を説明できる 12 骨格筋の構造、筋収縮・筋線維のしくみを説明できる 13 骨のしくみを説明できる 14 発生と細胞と組織を説明できる 15 過去国家試験問題開設				
学習方略 （LS）	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	単元ごとに小テストを行い、総合的に評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	①標準理学療法学・作業療法学　解剖学（医学書院）　②基礎から学ぶ解剖学ノート（医歯薬出版） ③筋骨格系のキネシオロジー				
参考書	配布する資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	解剖学Ⅰ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	松村　一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	主に中枢神経系の構造と神経伝導路、支配筋、自律神経について理解できる				
行動目標 （SBOs）	①下記1～14について説明できる ②国家試験問題を解き、出題ポイントを理解できる				
授業概要	1　神経の構造と発生を説明できる 2　大脳皮質・大脳基底核・大脳辺縁系・脳室を説明できる 3　脳幹を説明できる 4　小脳を説明できる 5　脊髄を説明できる 6　末梢神経の細胞、興奮、シナプス伝導、運動単位等を説明できる 7　上行性伝導路(錐体路、錐体外路等)を説明できる 8　下行性伝導路（感覚神経等）を説明できる 9　頸神経叢と腕神経叢を説明できる 10　上肢の神経と筋支配を説明できる 11　腰神経叢と仙骨神経叢を説明できる 12　下肢の神経と筋支配を説明できる 13　脳神経を説明できる 14　自律神経を説明できる 15　感覚器（臭覚・味覚・聴覚等）を説明できる				
学習方略 （LS）	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	単元ごとに小テストを行い、総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	①標準理学療法学・作業療法学　解剖学（医学書院）　②基礎から学ぶ解剖学ノート（医歯薬出版） ③筋骨格系のキネシオロジー				
参考書	配布する資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	解剖学Ⅱ			授業区分	講義
学年・時期	2 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	田崎裕紀 0		実務経験 の 内 容	歯科医師（東京歯科大学生理学講座、国際医療福祉専門学校）	
一般目標 （GIO）	理学療法学の基礎となる、系統解剖学、局所解剖学を学び理解することができること。				
行動目標 （SBOs）	・基本的な解剖構造と名称が説明できること。 ・解剖学的用語を用いて説明できること。				
授業概要	「内臓学」 1. 内臓器官の構造 2. 消化器系 3. 呼吸器系 4. 循環器系 5. 泌尿器系 6. 生殖器系 7. 内分泌系				
学習方略 （LS）	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 （EV）	小テスト結果、及び前期テスト結果で総合評価する				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学解剖学　第4版				
参考書	カラー人体解剖学（西村書店） 系統看護学講座　解剖生理学（医学書院）　人体解剖カラーアトラス				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	生理学Ⅰ			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　（ 60 時間）
担当教員 mail	田崎裕紀 0		実務経験の内容	歯科医師（東京歯科大学生理学講座、国際医療福祉専門学校）	
一般目標 （GIO）	医学、および理学療法の基礎となる生理学を学び・理解する。				
行動目標 （SBOs）	基礎解剖学を踏まえ、細胞、組織、器官の機能を学び・理解し、説明することが出来る。				
授業概要	1. 生命現象と人体　（P3～P11） 2. 細胞の構造と機能　（P13～P16） 3. 神経の興奮伝導と末梢神経（P19～P28） 4. 中枢神経　（P30～P46） 5. 筋と骨　（P49～P164） 6. 感覚　（P66～P77） 7. 血液　（P81～P94） 8. 心臓と循環　（P96～P122） 9. 呼吸とガスの運搬　（P124～P135） 10. 尿の生成と排泄　（P137～P145） 11. 酸塩基平衡　（P147～P148） 12. 消化と吸収　（P150～P160） 13. 内分泌　（P162～P174） 14. 代謝と体温　（P177～P186） 15. 生殖と発生　（P188～P198） 16. 運動生理　（P201～P206）				
学習方略 （LS）	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 （EV）	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「生理学」 第 5 版				
参考書	系統看護学講座「解剖学生理学」				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	生理学Ⅱ			授業区分	講義
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	30 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	佐藤　武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内 容	救急救命士（国際医療看護福祉大学校（旧国際メディカルテクノロジー専門学校）、株式会社ファーストエマージェンシー）	
一般目標 （GIO）	医学、および理学療法の基礎となる生理学を学び・理解する。				
行動目標 （SBOs）	基礎解剖学を踏まえ、細胞、組織、器官の機能を学び・理解し、説明することが出来る。				
授業概要	1. 生命現象と人体　（P3～P11） 2. 細胞の構造と機能　（P13～P16） 3. 神経の興奮伝導と末梢神経（P19～P28） 4. 中枢神経　（P30～P46） 5. 筋と骨　（P49～P164） 6. 感覚　（P66～P77） 7. 血液　（P81～P94） 8. 心臓と循環　（P96～P122） 9. 呼吸とガスの運搬　（P124～P135） 10. 尿の生成と排泄　（P137～P145） 11. 酸塩基平衡　（P147～P148） 12. 消化と吸収　（P150～P160） 13. 内分泌　（P162～P174） 14. 代謝と体温　（P177～P186） 15. 生殖と発生　（P188～P198） 16. 運動生理　（P201～P206）				
学習方略 （LS）	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 （EV）	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「生理学」 第 5 版				
参考書	系統看護学講座「解剖学生理学」				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	薬理学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	佐藤　武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内 容	救急救命士（国際医療看護福祉大学校（旧国際メディカルテクノロジー専門学校）、株式会社ファーストエマージェンシー）	
一般目標 （GIO）	・医療現場で必要な薬理に関する事を理解する。特に理学療法士として必要な末梢神経作動薬、中枢神経作動薬を中心に薬物がもたらす効果および副作用を理解する。				
行動目標 （SBOs）	・薬物一般に共通する知識を理解する。 ・薬物の投与経路、作用、副作用について理解する。				
授業概要	1. オリエンテーション、薬理学総論 2. 薬が作用する仕組み（薬力学） 3. 薬の体内挙動（薬物動態学） 4. 薬物相互作用（吸収・分布・代謝・排泄） 5. 神経系による情報伝達 6. 自律神経系作用薬 7. 交感神経作用薬（アドレナリン作動薬、抗アドレナリン薬） 8. 副交感神経作用薬（コリン作用薬、抗コリン薬） 9. 筋弛緩薬、局所麻酔薬 10. 中枢神経系のはたらきと薬物 11. 催眠薬、抗不安薬 12. 抗精神病薬、抗うつ薬、気分安定薬 13. パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬 14. 循環器系に作用する薬物 15. まとめ				
学習方略 （LS）	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 （EV）	最終試験（筆記試験）で総評する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学（疾病のなりたちと回復の促進③）　吉岡充弘　他　「医学書院」				
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	病理学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	佐藤　武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内 容	救急救命士（国際医療看護福祉大学校（旧国際メディカルテクノロジー専門学校）、株式会社ファーストエマージェンシー）	
一般目標 （GIO）	・炎症、変性、循環障害などが身体にどのような変化をもたらすか理解する。特に理学療法士に必要な主要病態・疾病について理解する。				
行動目標 （SBOs）	・病気の原因、成り立ち、発生機序を理解する。 ・医学専門用語を理解する。				
授業概要	1. オリエンテーション、病理学総論、病気の原因（内因、外因） 2. 公害病・医原病・職業がん 3. 細胞の損傷とその原因、 4. 組織の修復と創傷治癒 5. 循環障害（循環系の概要、浮腫、充血とうっ血） 6. 循環障害（出血、血栓症、塞栓症、虚血と梗塞） 7. 側副循環による障害 8. ショック（ショックの分類・症状・病態） 9. 高血圧症（血圧の調整、高血圧の分類、高血圧による変化と治療） 10. 循環系疾患（血管の疾患） 11. 循環系疾患（心臓の疾患） 12. 呼吸器系疾患（鼻腔、咽頭、喉頭の疾患） 13. 呼吸器系疾患（気管、気管支、肺の構造と機能） 14. 消化器系の疾患（口腔。食道の疾患、胃の疾患など） 15. まとめ				
学習方略 （LS）	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 （EV）	最終試験（筆記試験）で総評する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	系統看護学講座　専門基礎分野　病理学（疾患の成り立ちと回復の促進①）　大橋健一　他　「医学書院」				
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	人間発達学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	松村　一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	・誕生から死までの全生涯のライフスタイルを通して、人間がどのように発達していくかを学ぶ。				
行動目標 （SBOs）	人間がどのように発達するのか、どのような要因が発達に影響するのかを説明できる。 1　人間発達学の対象領域について説明できる 2　各期の発達について説明できる 3　各機能の発達について説明できる				
授業概要	1　発達、成長、成熟、発育、運動発達の原則 2　粗大運動発達 3　微細運動発達 4　遠城寺式乳幼児発達検査 5　デンバー式発達検査・津守式乳幼児精神発達質問紙 6　運動年齢テスト（MAT）・ミラーニ発達チャート 7　GMFM　・　GMFCS 8　Wee　FIM 9　REDI 10　運動発達理論 11　姿勢反射の発達 12　姿勢反射と検査法 13　姿勢反射と運動発達の関係 14　学童・青年・成人・老年期の発達 15　過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	教科書のイラストを参考に、正常発達をイメージしながら学習すること。				
学習評価 （EV）	筆記試験で総評する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	小児理学療法学テキスト(南江堂)				
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床心理学			授業区分	講義
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	千葉　崇弘 baachii52@gmail.com		実務経験 の 内 容	臨床心理士（仙台市スクールカウンセラー、岩手県沿岸南部教育事務所スクールカウンセラー）	
一般目標 （GIO）	・臨床心理学の基礎知識を理解し,コミュニケーション・対人理解に応用できること				
行動目標 （SBOs）	臨床心理学のものの見方,言葉を用いることができるようになる。				
授業概要	以下の大項目について学習を進めていく 第Ⅰ部　臨床心理学の扉を開く―臨床心理学とは― 第Ⅱ部　心理援助の実際にふれる―事例に学ぶ問題の理解とかかわり― 第Ⅲ部　心理援助の基礎を学ぶ―発達・人格理論― 第Ⅳ部　対象を理解する―心理アセスメント― 第Ⅴ部　心理援助の方法を知る―心理療法―				
学習方略 （LS）	講義の聴講と体験学習を通して臨床心理学の知識・技術を習得する				
学習評価 （EV）	小テスト,最終テスト,レポート,授業態度を総合的に評価し,判断する				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	心とかかわる臨床心理　第 3 版				
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	公衆衛生学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	・疫学、保健統計などの医療職種として必要な公衆衛生の基礎を理解する。またコメディカルスタッフとしてチーム医療を行えるよう医療制度や他職種の理解を深める。				
行動目標 （SBOs）	・疫学、保健統計の基礎知識を理解する。 ・医療制度の基礎知識を理解する。				
授業概要	1. オリエンテーション、公衆衛生と健康の概要 2. 疫学 3. 保健統計 4. 医の倫理と患者の人権 5. 医師法と関係法規 6. 診療情報と各種証明書 7. 終末期医療と死の概念 8. 医療の質と安全の確保 9. 医療法と医療体制 10. 社会保障と医療経済 11. 地域医療 12. 成人保険と健康増進（健康増進法、健康日本21、生活習慣ｖ病対策、がん対策） 13. 母子保健 14、高齢者保健、障碍者福祉 15、まとめ				
学習方略 （LS）	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	公衆衛生がみえる　202022－2023 「MEDIC　MEDIA」				
参考書	適宜紹介する。				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	医学概論			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	松村　一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	・現在の医療におけるリハビリテーションの位置づけを知る。 ・リハビリテーションを知る。				
行動目標 （SBOs）	・代表的疾患について理解する ・代表疾患に対する理学療法を理解する				
授業概要	1. リハビリテーションの理解 2. 医学とは 3. 障害とは 4. 障害に対するリハビリテーション 5. 障害に対するリハビリテーション 6. 病気・疾患 7　脳血管障害 8　神経筋障害 9　運動器障害 10　呼吸器障害 11　糖尿病 12　癌 13　切断 14　脊髄損傷 15　小児疾患				
学習方略 （LS）	・座学講義主体で、動画などを用いて実際を知る。				
学習評価 （EV）	課題レポートで総評する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書	配布する資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	内科学・老年学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	小原　拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（介護老人保健施設シルバー・ヘルス）	
一般目標 （GIO）	加齢に伴い老年期の特徴と内科疾患の基礎について学ぶ。				
行動目標 （SBOs）	1～14 を簡潔に説明できる。				
授業概要	1　老化と老年病の考え方 2　加齢に伴う変化：生理機能 3　加齢に伴う変化：運動機能 4　加齢に伴う変化：精神心理症状 5　高齢者に多い症候と老年症候群 6　高齢者に多い症候と老年症候群 7　高齢者に多い症候と老年症候群 8　高齢者に多い症候と老年症候群 9　高齢者に多い症候と老年症候群 10　認知症と精神疾患 11　認知症と精神疾患 12　骨粗しょう症と運動器疾患 13　骨粗しょう症と運動器疾患 14　感染症 15　過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	人体特に内科学は日常でおこりうる内科の病気の学問です。生理学や解剖学、病理学と一緒に学習してください。				
学習評価 （EV）	ペーパーテストで評価する				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法「内科学 」第 3 版、　「老年学」第 3 版 基礎から学ぶ内科学ノート（医歯薬出版）				
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	内科学・老年学			授業区分	講義
学年・時期	年　　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail			実務経験 の 内 容		
一般目標 （GIO）	広く、リハビリテーションと関わりの深い内科疾患と老年学を学び、理解する。				
行動目標 （SBOs）	リハビリテーションと関わりの深い内科疾患について、説明することができる。				
授業概要	16 閉塞性・拘束性換気障害（COPD,間質性肺炎、肺線維症等） 17 在宅酸素療法（HOT） 18 虚血性心疾患・心不全・心弁膜症・先天性心疾患 19 心筋疾患・心膜炎・肺性心・肺高血圧症・肺塞栓 20 大動脈疾患・末梢血管疾患 21 急性腎不全・慢性腎不全 22 糖・脂質代謝疾患（糖尿病、低血糖、脂質異常、痛風等） 23 代表的な悪性腫瘍 24 貧血症・多血症・白血病・悪性リンパ腫・出血性疾患 25 自己免疫疾患、膠原病・類似疾患・免疫不全症候群 26 内分泌疾患（視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎皮質・髄質、性腺疾患） 27 口腔・食道・胃疾患 28 小腸・大腸疾患 29 肝・胆嚢・胆道・膵臓疾患 30 過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 （EV）					
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法　　「内科学 」第 3 版、　「老年学」第 3 版				
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	整形外科学Ⅰ			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　（ 60 時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験の内容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	整形外科学疾患の病態と治療法、リハビリテーションを理解する				
行動目標 （SBOs）	リハビリテーションと関わりの深い整形外科疾患について、説明することができる。				
授業概要	＜授業内容予定＞ 1、整形外科基礎知識 2、運動器の評価および検査法 3、整形外科的治療法 【整形外科疾病論】 4、炎症性疾患 5、代謝・内分泌疾患、退行性疾患 6、先天性骨・関節疾患 7、循環障害と壊死性疾患 8、骨・軟部腫瘍 、神経・筋疾患 10、脊椎の疾患 【外傷性疾患】 11、骨折 12、脊髄損傷 13、関節における外傷性疾患 14、末梢神経における外傷性疾患 15、腱・靭帯における外傷性疾患 16、スポーツ傷害 17、熱傷 18、切断および離断 19、画像の読影				
学習方略 （LS）	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法「整形外科学　」第 5 版				
参考書	適宜紹介する。				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	整形外科学Ⅱ			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	三谷　典生 ahpta2017@yahoo.co.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（衣笠病院、一関病院）	
一般目標 （GIO）	理学療法評価及び治療を実施する上で必要不可欠な組織を実際に触診できることを学習する				
行動目標 （SBOs）	下記1～15 に関する骨・関節・筋を説明しながら触診できる				
授業概要	1　触診の基本 2　肩甲骨・鎖骨 3　上腕骨・橈骨・尺骨 4　手根骨・指骨 5　骨盤・大腿骨 6　膝周辺・足関節および足部周辺 7　肩甲上腕関節に関わる筋 8　肩甲胸郭関節に関わる筋 9　肘関節に関わる筋 10　手関節および手指に関わる筋 11　股関節に関わる筋 12　膝関節に関わる筋 13　足関節および足部に関わる筋 14　胸郭脊柱の骨 15　体幹に関する筋				
学習方略 （LS）	授業は演習を中心に学生同士で触診技術を学ぶ。				
学習評価 （EV）	実技試験とペーパー試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	運動療法のための機能解剖学的触診技術動画プラス上肢（メジカルビュー社）				
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	神経内科学・脳外科学			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	松村　一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	解剖学、生理学、内科学、老年学を復習しながら、リハビリテーションの現場と直結する学問です。 各疾患と症状を説明できることを目標とします。				
行動目標 （SBOs）	①下記1～14について説明できる ②理学療法評価と関連づけて学習することができる ③国家試験問題を解き、出題ポイントを理解できる				
授業概要	1　変性疾患の概念と分類を説明できる 2　パーキンソン病とパーキンソンニズム、ハンチントン病を説明できる 3　脊髄小脳変性症の種類と症状を説明できる 4　脊髄変性症（ALS,SMA,脊髄空洞症）を説明できる 5　脱髄疾患（主に多発性硬化症）を説明できる 6　脳腫瘍を説明できる 7　末梢性ニューロパチーの種類と症状を説明できる 8　ミオパチーの種類と症状を説明できる 9　筋ジストロフィー症の種類と特徴を説明できる 10　重症筋無力症・多発性筋炎、周期性四肢麻痺を説明できる 11 神経感染性疾患の種類と症状を説明できる 12 運動失調を説明できる 13 正常圧水頭症を説明できる 14　CRPS（複合性局所疼痛症候群）・反射性交感神経性ジストロフィーを説明できる 15　過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	解剖学の知識が必要です。復習しながら勉強してください。				
学習評価 （EV）	各単元ごとの小テストで総評する				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	運動療法のための機能解剖学的触診技術動画プラス下肢体幹（メジカルビュー社）				
参考書	配布する資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	精神医学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	・精神医学の特色を身体医学との比較で学ぶ				
行動目標 （SBOs）	・精神疾患の病態、症状、治療法を理解する ・臨床で必要とされる精神医学の知識を身につけ病気と障害を持ちながらの生活を支える技術を学ぶ。 ・患者・障害者の心に共感し、健康な心の部分を捉える能力を養う				
授業概要	第 1 章「精神科医療、精神医学とは何か」 第 2 章「精神科の病気とその症状」 ・神経症とストレス関連障害 ・心身症 ・統合失調症 ・気分障害(感情障害) ・外因性精神障害(身体因性精神障害、広義の器質性精神障害) ・器質性精神障害 ・物質関連障害群、物質依存 ・てんかん ・老年期精神障害 ・児童・青年期の精神障害 ・知的能力障害(知的発達症/知的発達障害) ・パーソナリティ（人格）障害 3. 第 3 章「精神科の治療法」				
学習方略 （LS）	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	はじめての精神医学　渡辺雅幸　改訂第 2 版				
参考書	適宜紹介する。				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	運動学			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　（ 60 時間）
担当教員 mail	松村　一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験の内容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	解剖学や生理学の知識をもとに人間の運動とはどうようなメカニズムによって行われているかについて説明できる				
行動目標 （SBOs）	①下記1～14について説明できる ②国家試験問題を解き、出題ポイントを理解できる				
授業概要	1 姿勢の種類、運動、動作、行為を説明できる 2 関節の基本構造と機能を説明できる 3 腱及び靭帯の構造と機能を説明できる 4 骨格筋の構造と機能を説明できる 5 筋収縮を説明できる 6 肩甲骨の運動を説明できる 7 肩関節の運動を説明できる 8 肘関節と前腕の運動を説明できる 9 手関節の運動を説明できる 10 手の運動を説明できる 11 股関節の運動を説明できる 12 膝関節の運動を説明できる 13 足関節と足部の運動を説明できる 14 頸部の運動を説明できる 15 胸部の運動を説明できる 16 腰部・骨盤の運動を説明できる 17 姿勢と重心、立位姿勢と立位保持 18 歩行周期 19 歩行分析・筋活動・床反力 20 小児及び高齢者の歩行 21 走行・異常歩行 22 肩甲帯と肩関節の筋と靭帯の起始・停止・作用 23 肘関節と前腕の筋と靭帯の起始・停止・作用 24 手関節と手の筋と靭帯の起始・停止・作用 25 骨盤と股関節筋と靭帯の起始・停止・作用 26 膝関節の筋と靭帯の起始・停止・作用 27 足関節・足部の筋と靭帯の起始・停止・作用 28 頸部の筋の起始・停止・作用 29 脊柱起立筋の起始・停止・作用 30 過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	臨床場面で理学療法士は運動の異常を評価し、その原因を探り、治療方法を決定します。その基礎を実技を通して学習すること				
学習評価 （EV）	各単元ごとの小テストと実技試験で総評する				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	筋骨格系のキネシオロジー　医歯薬出版 基礎から学ぶ運動学ノート　医歯薬出版㈱				
参考書	標準理学療法学・作業療法学「解剖学」第 5 版　医学書院				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	小児科学			授業区分	講義
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	松村　一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	1 年次後期に学習した人間発達学を基礎に発達過程で生じる中枢神経障害や骨関節障害、遺伝疾患、精神障害等の病気について学習する				
行動目標 （SBOs）	理学療法士が臨床場面で遭遇する代表的な疾患の原因と病態、臨床像について説明できる				
授業概要	1、低出生体重児・ハイリスク児 2　脳性麻痺の原因と病態、合併症① 3、脳性麻痺の原因と病態、合併症② 4、二分脊椎の原因と病態、合併症 5、ダウン症候群の原因と病態、合併症 6、子供の代表的な遺伝性疾患：遺伝形式と臨床像 7、大腿骨頭すべり症、ペルテス病の原因と臨床像 8、代表的な骨端症：部位と好発年齢 9、先天性股関節脱臼と股関節障害に関する臼蓋角と CE 角、sharp 角 10、小児で多い骨折と特発性側彎症 11、自閉症スペクトラム障害　、広汎性発達障害 12、血友病 13、先天性奇形を生じる疾患 14、精神遅滞（知的障害）を生じる疾患 15, 自己免疫疾患と代謝異常				
学習方略 （LS）	内科学や整形外科学の知識を共有しながら学習すること。				
学習評価 （EV）	筆記試験で総評する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	基礎から学ぶ神経内科ノート・基礎から学ぶ病理学ノート（医歯薬出版）・小児理学療法学テキスト(南江堂)				
参考書	標準理学療法学・作業療法「内科学　」第 3 版、「老年学」第 3 版 標準理学療法学・作業療法「整形外科学　」第 4 版				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	栄養学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	小原　粒子 0		実務経験 の 内 容	管理栄養士（老人保健施設きぼう苑、ケアハウス千鳥苑、特別養護老人ホームぶなの園、一関病院）	
一般目標 （GIO）	近年リハビリ対象者（高齢者）に低栄養やサルコペニアが増加している。栄養状態を良好に保ち、適切な栄養管理下での積極的なリハビリは、筋力アップにつながり、さらなる ADL の改善につながものである。また口腔機能の維持・向上に関心を持ち、栄養状態が及ぼすリハビリの効果を理解することを目的とする。				
行動目標 （SBOs）	1.栄養素について理解する 2.栄養素の消化・吸収・代謝について理解する 3.エネルギーの代謝・エネルギーの消費について理解する 4.チーム医療の仕組み、栄養ケアマネジメントについて理解する 5.臨床栄養・病態別栄養管理について理解する 6.リハビリテーション栄養の全体について理解する				
授業概要	①人間栄養学 ②栄養素の種類とはたらき ③食物の消化と、栄養素の吸収・代謝について ④エネルギー代謝 ⑤食事と食品 ⑥栄養ケアマネジメント ⑦栄養状態の評価と判定 ⑧ライフステージにおける栄養管理 ⑨臨床の場における病態栄養 ⑩リハビリテーション栄養の必要性と実際について ⑪口腔機能と栄養の関わり ⑫心身内科学と栄養の関わり ⑬慢性疾患患者に対する低栄養対策 ⑭在宅支援における栄養の役割 ⑮実症例をもとにした、栄養アセスメントと栄養ケアプランの作成 ⑯国家試験の傾向と対策				
学習方略 （LS）	教科書を中心に授業する。実際の臨床の現場で行われている内容を適宜取り入れる				
学習評価 （EV）	定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	2021 年版「系統看護学講座」 専門基礎分野　人体の構造と機能[3]　栄養学　　（医学書院）				
参考書	その他、厚生労働省資料やプリント等				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法概論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	3 単位	回数・時間数	45 回　（ 90 時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	リハビリテーションの概念を理解し、それに伴う理学療法の役割について広く学ぶ。				
行動目標 （SBOs）	・理学療法の概略および理学療法士の現状について理解する。 ・実際の場面を想定したものを実技を通して理解を深めていく。				
授業概要	1，理学療法の概念と歴史 2，理学療法士の法律 3，理学療法士の関連法規 4，理学療法の意義と役割 5，理学療法の対象 6，理学療法の方法 7，理学療法士の組織 8，理学療法士教育 9，医療・保険分野の理学療法 10、地域リハビリテーションと理学療法 11，医療事故とリスクマネージメント 12，個人情報の管理と対象者の権利 13，理学療法士を目指す学生に求められるもの 14，臨床教育の実践 15，理学療法士と研究				
学習方略 （LS）	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法概論 第 4 版 神陵文庫				
参考書	資料等配布				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	社会福祉学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	佐々木千枝 goodjobousyuu777@gmail.com		実務経験 の 内 容	社会福祉士（フレンドシップいわて、岩手県教育委員会、北上福祉専門学校、盛岡大学短期大学部）	
一般目標 （GIO）	社会背景の移り変わりに対してどのように社会福祉制度が変化してきているのかを理解し、対人援助する際の視点を持てる				
行動目標 （SBOs）	1. 社会福祉とは何かを理解する。 2. 日本における社会福祉制度について理解する。 3. 介護保険制度について理解する。 4地域福祉について理解する。 5） 医療福祉・精神保健福祉について理解する。 6）社会福祉施設の役割について理解する。				
授業概要	1. 社会福祉とは 2. 日本の社会福祉の歴史 3. 社会保障制度と社会福祉を展開する組織 4. 子ども福祉について 5. 障害者福祉について 6. 高齢者福祉について 7. 介護保険制度と専門職の役割 8. 低所得者福祉について 9. 地域福祉とその推進方法 10. 医療福祉について 11. 精神保健福祉について 12. 社会福祉施設の役割 13. 社会福祉を担う人々 14. 相談援助の目的と方法 15. 社会福祉を巡る課題とコメディカルに期待される役割				
学習方略 （LS）	教科書を中心に講義形式で学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら 1986）カテゴリーの精緻化方略を参考とすること。 ※事前に学習方略内容の確認を各自行うこと。				
学習評価 （EV）	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	コメディカルのための社会福祉概論　第 4 版　講談社				
参考書	その他、厚生労働省資料やプリント等				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	基礎理学療法総論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	小原　拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（介護老人保健施設シルバー・ヘルス）	
一般目標 （GIO）	運動療法を実施できる基礎として、対象者の評価に基づいた姿勢変換や移乗・移動動作の習得が不可欠です。				
行動目標 （SBOs）	①ボディメカニズムを理解できる ②①を理解した上で対象者に対して適切な介助や誘導を行うことができる				
授業概要	1 代表的な姿勢と体位変換と移動 2 介助の基本的考え方と方法 3 安静臥床の影響と廃用 4 体位変換の意義と介助 5 移動に介助を要する対象者の特性と介助される対象者の評価 6 障害別介助の特徴と留意点 （片麻痺と対麻痺・四肢麻痺） 7 臥位のとらせ方と移動 8 寝返りの仕方 9 起き上がりの仕方 10 座位と移動、 座位からの立ち上がりと立位 11 トランスファー（移乗） 12 トランスファー（移乗） 13 歩行介助 14 歩行補助具の使い方 15 車椅子介助				
学習方略 （LS）	実技演習を通して介助方法や理論を学ぶ				
学習評価 （EV）	取組態度、実技試験、ペーパー試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	新イラストによる安全な動作介助の手引き 第 3 版　　医歯薬出版				
参考書	配布資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法研究法Ⅰ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。				
行動目標 （SBOs）	1、研究の意義が説明できる 2、研究過程を説明できる 3、データの解析ができる 4、研究発表ができる				
授業概要	1. 概論　（研究の面白さ、楽しみ、何のために研究をするのか） 2. 研究を始める前に(研究テーマの選び方、研究の仮設立案) 3. 統計学の基本1 4. 統計学の基本2 5. 記述統計学 6. 統計学の確率の考え方 7. 推測統計学の考え方 8. 自主研究1 9. 自主研究2 10. 自主研究3 11. 自主研究4 12. 自主研究5 13. 自主研究6 14. 発表 15. 発表、まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法研究法 医歯薬出版株式会社				
参考書	統計学の図鑑　技術評論社				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法研究法Ⅱ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。				
行動目標 （SBOs）	1、理学療法研究の意義が説明できる 2、理学療法研究過程を説明できる 3、理学療法データの解析ができる 4、理学療法研究の発表ができる				
授業概要	1. オリエンテーション 2. 理学療法研究について① 3. 理学療法研究について② 4. 理学療法学会誌等の紹介① 5. 理学療法学会誌等の紹介② 6. 理学療法学会誌等の自己検索① 7. 理学療法学会誌等の自己検索② 8. 自己研究の作成① 9. 自己研究の作成② 10. 自己研究の作成③ 11. 自己研究の作成④ 12. 自己研究の作成⑤ 13. 研究発表用のパワーポイント貼り付け 14. 研究発表 15. 研究発表、まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法研究法 医歯薬出版株式会社				
参考書	統計学の図鑑　技術評論社				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	卒業研究			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	3 年　後期	単位	3 単位	回数・時間数	45 回　（ 90 時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	・理学療法士に必要な知識・技術を整理し、理解を深める。				
行動目標 （SBOs）	・国家試験受験に向けて、出題傾向をとらえ学習計画を立て、実行できる。				
授業概要	1-2：国家試験の出題傾向の把握と1年間の学習計画作成 3-12：理学療法に関する手技演習 13-22：基礎医学、臨床医学についての復習・まとめ 23-32：理学療法専門分野の知識・技術の復習とまとめ 33-45:個々の課題分析と課題演習				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習を実施する。				
学習評価 （EV）	提出物および取組態度 80%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし				
参考書	国家試験および模擬試験問題等				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法業務運営管理			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　（ 60 時間）
担当教員 mail	佐々木　成大 sikisainoblues@gmail.com		実務経験 の 内 容	理学療法士（初富保健病院、介護老人保健施設やまゆり、介護老人保健施設さわなり苑）	
一般目標 （GIO）	リハビリテーションおよび理学療法の概要を理解しながら、リハビリテーションチームの一員としての理学療法士としての役割と業務内を説明できる				
行動目標 （SBOs）	①下記1～15 について説明できる				
授業概要	前期 1　職業倫理　　2　リスボン宣言　3　理学療法士の使命と倫理・・インホームドコンセント 4　守秘義務　　5　病院・施設の組織と役割　6　診療業務と診療記録 7　コンプライアンス　8　労務管理　　9　組織ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 10　ハラスメント　　11　安全管理・リスク管理と事故報告書（ヒアリハット含む） 12　診療参加型臨床実習　13　OSCE 14　臨床実習の評価（ルーブリック・ソーシャルスキル・ポートフォリオ） 15　スタンダードプリコーション				
学習方略 （LS）	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	ペーパー試験により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書	資料配布等				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法評価法Ⅰ			授業区分	演習
学年・時期	1 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　（ 60 時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	理学療法の意義を理解し、個々の評価方法、判断をし患者の全体像を把握できる				
行動目標 （SBOs）	・理学療法評価の意義を理解する。 ・理学療法評価の手技・判断が理解する。				
授業概要	・理学療法評価の意義 ・一般的評価事項 ・バイタルサイン ・形態測定 ・痛みの評価 ・感覚検査 ・整形外科疾患試験 ・高次脳機能検査 ・片麻痺機能検査 ・脳機能検査 ・統合と解釈				
学習方略 （LS）	教科書および実技での学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら 1986） カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。 ※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。				
学習評価 （EV）	定期テストおよび実技テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学　専門分野　理学療法評価学　第 3 版				
参考書	標準理学療法学　専門分野　理学療法評価学　第 3 版				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法評価法Ⅱ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　（ 60 時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	疾患特性から種々の評価選定、実施し、その結果が ADSL にどのような影響を与えているか統合することにより、予後予測を含めて包括的に捉える。				
行動目標 （SBOs）	1：個々の疾患の概略を理解し、説明できる。 2：個々の疾患、障害に応じた評価項目の意義を理解し、説明できる。 3：評価結果のとらえ方を説明でき、その結果を解釈できる。				
授業概要	1-2：理学療法Ⅰの復習 3-6：脳卒中の理学療法評価について 7-14：運動器疾患に対する評価について 15-18：神経疾患に対する評価について 19-20：スポーツ外傷・障害に対する評価について 21-24：高齢者の体力、廃用症候群に対する評価 25-30：模擬患者での評価演習・まとめ				
学習方略 （LS）	教科書および実技での学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986） カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。 ※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。				
学習評価 （EV）	定期テストおよび実技テストにて総合的に判断				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法学講座　留学療法評価学　（医歯薬出版）				
参考書	国家試験問題集等				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法評価法Ⅲ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	3 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	総合実習Ⅰ・Ⅱを実施したことのより、知識・技術の再確認と不足部分の補いを行い、理学療法士としての評価法を確立させる。				
行動目標 （SBOs）	疾患特性に応じた、理学療法評価を展開できるよう、今までの知識・技術を整理しながら実施できる。 実際の症例に対し、効果的なプランニングを図る事ができるようになる。				
授業概要	評価実習・総合実習Ⅰ、Ⅱで実施してきたチェックリスト、ポートフォリオ、ソーシャル評価を再確認し各学生間で情報を共有しながらディスカッション、実技の実際、解釈の確認などを行っていく。				
学習方略 （LS）	講義、実技を含む				
学習評価 （EV）	実習報告書・レポート提出				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	所持している教科書等				
参考書	適宜紹介				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床運動学			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	三谷　典生 ahpta2017@yahoo.co.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（衣笠病院、一関病院）	
一般目標 （GIO）	・臨床での基本的な動作分析を理解する ・動作遂行能力の診断、動作異常要素の原因追究を行う				
行動目標 （SBOs）	・力学的動作が説明できる ・動作分析の思考過程を明らかにし、事例を通して動作分析を理解する ・代表的な疾患を通して動作の特徴を理解する				
授業概要	1、2　正常動作の観察と分析 3、4　臨床における動作分析の進め方 5、6　臨床における動作分析の進め方−動作分析の展開 7、8　臨床における動作分析の進め方−動作分析の実際 9、　疾患・症状別異常動作の特徴−脳血管障害片麻痺の動作 10、疾患・症状別異常動作の特徴−対麻痺の動作 11、疾患・症状別異常動作の特徴−完全四肢麻痺の動作 12、疾患・症状別異常動作の特徴−不全四肢麻痺の動作 13、疾患・症状別異常動作の特徴−下肢荷重関節の障害と動作 14、疾患・症状別異常動作の特徴−高齢者・パーキンソン症状の動作 15、疾患・症状別異常動作の特徴−小児疾患の動作				
学習方略 （LS）	授業は動画等を活用しながら、講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度、試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	動作分析　臨床活用講座　バイオメカニズムに基づく臨床推論の実践				
参考書	配布資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	日常生活技術論			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	小原　拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験の内容	理学療法士（介護老人保健施設シルバー・ヘルス）	
一般目標 （GIO）	理学療法の中で障害と ADL の関連性を正しくとらえることは、個々のライフスタイルに合わせたアプローチをするうえで重要である。ADL の概要及びその範囲、ADL 評価、ADL 支援機器、疾患特性に応じた ADL の指導方法等を学習する。				
行動目標 （SBOs）	1. ADL の概要について理解し、説明できる。 2. ICIDH・ICF と ADL との関連について理解する。 3. ADL と QOL の関係を理解する。 4. ADL に必要な運動学の視点を理解し、介助方法について運動学的説明ができる。 5. 主な ADL 評価を説明できる。 6. ADL を支援する機器の役割を理解できる。 7. 代表的な理学療法対象疾患の特性を理解し指導方法を説明できる。 8. 在宅生活復帰に必要な退院・退所前の評価の要点と ADL 指導内容およびその際の留意事項について説明できる。				
授業概要	1：ADL の概要と範囲、ADL と障害 2：ADL・IADL・QOL 3：ADL 評価 4：基本動作とセルフケア 5：基本動作とセルフケア 6：移乗動作 7：ADL 支援機器：自助具・日常生活用具 8： ADL 支援機器：歩行補助具] 9：ADL 支援機器：車椅子 10：片麻痺の ADL 11：関節リウマチの ADL 12：人工股関節全置換術（THA)後の ADL 13：神経筋疾患・難病の ADL 14：高次機能障害・認知症の ADL 15：過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	教科書および実技での学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら 1986） カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。 ※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。				
学習評価 （EV）	定期テストおよびレポートにて総合的に判断				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	CrossLink 理学療法学テキスト 日常生活活動学　メディカルビュー				
参考書	配布資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療演習ＩＡ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	・関節可動域測定の意義を理解する ・徒手筋力検査の意義を理解する				
行動目標 （SBOs）	・関節可動域測定において基本軸、移動軸を理解し確実にテストすることが出来る ・徒手筋力検査において段階基準を理解し確実にテストすることが出来る				
授業概要	1. 関節可動域測定①　肩甲帯・上肢2. 関節可動域測定②　肩甲帯・上肢 3. 関節可動域測定③　肩甲帯・上肢 4, 関節可動域測定④　頸部・体幹 5. 関節可動域測定⑤　頸部・体幹 6. 関節可動域測定⑥　頸部・体幹 7. 関節可動域測定⑦　手指 8. 徒手筋力検査法　頸部・体幹　講義 9. 徒手筋力検査法　頸部・体幹　実技 10. 徒手筋力検査法　上肢①　講義 11. 徒手筋力検査法　上肢①　実技 12. 徒手筋力検査法　上肢②　講義 13. 徒手筋力検査法　上肢②　実技 14. 徒手筋力検査法　上肢③　講義 15. 徒手筋力検査法　上肢③　実技				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	最新理学療法学講座 理学療法評価学 新・徒手筋力検査法　第 10 版				
参考書	適宜紹介する。				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法演習ＩＢ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	・関節可動域測定の意義を理解する ・徒手筋力検査の意義を理解する				
行動目標 （SBOs）	・関節可動域測定において基本軸・移動軸を理解し確実にテストすることが出来る ・徒手筋力検査において段階基準を理解し確実にテストすることが出来る				
授業概要	1. 関節可動域測定①　下肢 2. 関節可動域測定②　下肢 3. 関節可動域測定③　下肢 4. 関節可動域測定④　下肢 5. 関節可動域測定⑤　下肢 6. 徒手筋力検査法　下肢　講義① 7. 徒手筋力検査法　下肢　実技① 8. 徒手筋力検査法　下肢　講義② 9. 徒手筋力検査法　下肢　実技② 10. 徒手筋力検査法　下肢　講義③ 11. 徒手筋力検査法　下肢　実技③ 12. 徒手筋力検査法　下肢　講義④ 13. 徒手筋力検査法　下肢　実技④ 14. 徒手筋力検査法　下肢　講義⑤ 15. 徒手筋力検査法　下肢　実技⑤				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	最新理学療法学講座 理学療法評価学 新・徒手筋力検査法　第 10 版				
参考書	適宜紹介する。				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法演習ⅡA			授業区分	演習
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	千葉恵美子・小原拓也 0		実務経験 の 内 容	0	
一般目標 （GIO）	理学療法士として必要な実践力を養う				
行動目標 （SBOs）	1. 情報収集によって、得られた情報から問題点を概ね説明することができる。 2. 必要な検査の選択が学習者によって概ね提示することができる。 3. 必要な検査を学習者自身が安全に実施することが概ねできる。 4. 検査結果の解釈について、学習者自身が概ね説明することができる。 5. 適切な治療計画について、学習者が概ね立案できる。 6. 今後の理学療法計画に関して、インフォームド・コンセントとして学習者自身が概ね実施できる。				
授業概要	1.OSCE について 2-3.コミュニケーション技法 4-5：医療面接 6-7：脈拍と血圧の測定 8-9：ROM 測定 10-11：MMT 測定 12：感覚検査 13：腱反射 14：BRS 15：立位バランス検査				
学習方略 （LS）	提示した模擬患者にて課題に対する演習およびディスカッション				
学習評価 （EV）	取組態度 10%、実技テスト 90%で総合的に評価				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	監修：細田多穂 「シンプル理学療法学シリーズ　理学療法評価学テキスト　改訂第 2 版」 南江堂				
参考書	PT・OT のための臨床技能と OSCE 金原出版株式会社				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法演習ⅡB			授業区分	演習
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	千葉恵美子・小原拓也 0		実務経験 の 内 容	0	
一般目標 （GIO）	理学療法士として必要な実践力を養う				
行動目標 （SBOs）	1. 情報収集によって、得られた情報から問題点を概ね説明することができる。 2. 必要な検査の選択が学習者によって概ね提示することができる。 3. 必要な検査を学習者自身が安全に実施することが概ねできる。 4. 検査結果の解釈について、学習者自身が概ね説明することができる。 5. 適切な治療計画について、学習者が概ね立案できる。 6. 今後の理学療法計画に関して、インフォームド・コンセントとして学習者自身が概ね実施できる。				
授業概要	1-10：動作分析（起き上がり、立ち上がり、歩行） 11-15：まとめ				
学習方略 （LS）	提示した模擬患者にて課題に対する演習およびディスカッション				
学習評価 （EV）	取組態度 10%、実技テスト 90%で総合的に評価				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	監修：細田多穂 「シンプル理学療法学シリーズ　理学療法評価学テキスト　改訂第 2 版」 南江堂				
参考書	PT・OT のための臨床技能と OSCE 金原出版株式会社				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論（脊椎疾患）			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　（ 60 時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	・重篤な症状が発現し、広範囲なリハビリテーションを必要とする脊髄障害の病態や評価そして理学療法を理解し、技術を習得する。				
行動目標 （SBOs）	・脊髄損傷の状態を理解し、説明することが出来る。障害状態に応じた理学療法が実施できるようになること。 ・脊椎に特有な多くの疾患を理解する。				
授業概要	1.脊髄損傷について 2.理学療法評価 3.運動療法 4.脊椎疾患について 5.各疾患の理学療法評価 6.各疾患の運動療法				
学習方略 （LS）	・脊髄損傷を中心に、臨床で多くみかれる脊椎疾患を学ぶ。				
学習評価 （EV）	・基礎知識のテスト、および応用的な実技テストで評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト　神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ　中山書店 ここがポイント。整形外科疾患の理学療法　第3版　金原出版				
参考書	適宜紹介				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論（整形外科・スポーツ）			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	検査手技や動きの特徴から、運動器に影響を与える変化を理解できる				
行動目標 （SBOs）	・検査手技の方法、目的を理解する ・検査手技の手順を理解する ・運動器症状に沿った検査方法を提示できる ・スポーツ活動に特徴的な外傷、障害に関する知識を持つことができる				
授業概要	１:頸部・胸部の検査Ⅰ ２:頸部・胸部の検査Ⅱ ３:頸部・胸部の検査Ⅲ ４:腰部・骨盤の検査Ⅰ ５:腰部・骨盤の検査Ⅱ ６:腰部・骨盤の検査Ⅲ ７:上肢の検査Ⅰ ８:上肢の検査Ⅱ ９:上肢の検査Ⅲ 10:下肢の検査Ⅰ 11:下肢の検査Ⅱ 12:下肢の検査Ⅲ 13:スポーツ外傷の競技別特徴 14:競技別外傷・予防 15:各検査方法の復習				
学習方略 （LS）	所定の単位数あたりで題材にした内容の座学的な学習と実技をセットで行い、技術定着を図る				
学習評価 （EV）	定期テストにて総合的に評価（実技試験のみの判定を用いる場合もあり）				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	下記テキストを参照（内容に関しては学校指定教科書に重複するため、各自参照をする）				
参考書	①スポーツリハビリテーションの臨床 ,青木治人（監修）, 清水邦明（監修）, 鈴川仁人（編集） メディカルサイエンスインターナショナル ②整形外科テスト ポケットマニュアル臨床で使える徒手的検査法 86,高橋 仁美（著）, 金子 奈央（著） 医歯薬出版 ③スポーツ安全協会　日本体育協会　スポーツ外傷・障害予防ガイドブック				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論(脳血管疾患)			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　(60 時間)
担当教員 mail	佐藤　博志 h-sato@ccube-station.com		実務経験 の 内 容	理学療法士(ボバース記念病院、栃内第二病院、八角商店シーキューブ)	
一般目標 (GIO)	脳の構造と機能について理解、損傷部位によりどのような経過をたどって回復に至るかについて理解し、具体的な運動療法立案できる。				
行動目標 (SBOs)	・脳の機能と運動障害の関係について整理。 ・運動障害となる脳血管障害をはじめとした脳の損傷についての知識の理解。 ・リハビリテーションを行う意義についての理解。 ・治療時のリスク管理が行える。				
授業概要	1:中枢神経障害の全容 2:脳血管障害とは 3:脳血管障害の診断～急性期治療 4・5:片麻痺患者の評価 6～9:運動療法の実技演習 10:パーキンソン病とは 11:パーキンソン病の理学療法 12:運動失調とは 13:小脳性運動失調の理学療法 14:頭部外傷・脳腫瘍・低酸素脳症 15:多発性硬化症等神経筋疾患について				
学習方略 (LS)	理学療法ガイドライン、EBM に基づく治療技術を習得できるよう実技演習をふまえて実施				
学習評価 (EV)	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト　神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ　中山書店				
参考書	・脳卒中最前線―急性期の診断からリハビリテーションまで―　第 4 版　医歯薬出版 ・Crosslink　理学療法学テキスト　神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱメディカルビュー社 ・脳卒中　基礎知識から最新リハビリテーションまで　医歯薬出版 ・病気がみえる　vol.7 脳・神経　メディックメディア				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論（内部障害）			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	松村　一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	解剖学と生理学の基礎的知識が必要です。 代表的疾患の評価と治療ができる				
行動目標 （SBOs）	1～14 について暗記ではなく図を用いて説明できる				
授業概要	1　循環器系の解剖学的構造と生理学的メカニズムを説明できる 2　循環器系の代表的疾患の病態を説明できる 3　循環器疾患患者のリスク管理について説明できる 4　癌のリハビリテーションについて説明できる 5　フィジカルアセスメントについて説明できる 6　運動負荷試験（エアロバイク）について説明できる 7　心大血管系患者の理学療法評価について説明できる 8　心大血管系患者の問題点抽出、治療プログラム立案、リスク管理を説明できる 9　糖尿病患者の理学療法評価について説明できる 10　糖尿病患者の問題点抽出、治療プログラム立案、リスク管理を説明できる 11　腎不全患者の理学療法評価について説明できる 12　腎不全患者の問題点抽出、治療プログラム立案、リスク管理を説明できる 13　人工透析と理学療法について説明できる 14　心エコー画像の見方や評価について説明できる 15　過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	授業は三冊の教科書を使用しながら、国家試験問題に対応できる知識を身につけてください。				
学習評価 （EV）	ペーパー試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	病気がみえる　循環器　　かんテキ　循環器　　PT・OT 基礎から学ぶ内科学ノート　第 2 版				
参考書	配布する資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論（小児疾患）			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	・人間発達学および小児科学で学習した内容を踏まえて、理学療法士として特に臨床場面で携わる疾患の症状、理学療法評価と治療について説明できる。				
行動目標 （SBOs）	1 理学療法士が携わる小児の代表的疾患の臨床症状について説明できる 2 理学療法士が携わる小児の代表的疾患の臨床症状から理学療法評価が出来る 3 理学療法士が携わる小児の代表的疾患の理学療法評価から治療プログラムを立案できる 4 理学療法士が携わる小児の代表的疾患の理学療法を実践できる				
授業概要	1 脳性まひ痙直型の理学療法評価 2 脳性まひ痙直型の治療プログラム 3 脳性まひアテトーゼ型の理学療法評価および治療プログラム 4 重症心身障碍児子供の整形外科疾患の理学療法評価および治療プログラム 5 知的障がい児とその他の発達障がい児の理学療法評価および治療プログラム 6 子供の整形外科疾患の理学療法評価および治療プログラム 7 ダウン症候の理学療法評価および治療プログラム 8 低出生体重児の理学療法評価および治療プログラム 9 呼吸機能障害の理学療法評価および治療プログラム 10 筋ジストロフィー症の理学療法評価および治療プログラム① 11 筋ジストロフィー症の理学療法評価および治療プログラム② 12 二分脊椎の理学療法評価および治療プログラム① 13 二分脊椎の理学療法評価および治療プログラム② 14 小児の補装具・車椅子 15 過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	これまで学んできた「人間発達学」「小児科学」「理学療法評価法」「運動療法」で学んだ知識と技術が要求されます。各教科書を参照しながら実技を通して学習すること。				
学習評価 （EV）	筆記試験で総評する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	シンプル理学療法学シリーズ「小児理学療法学テキスト」改訂第3版				
参考書	理学療法評価学				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	運動療法総論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	岩渕　隆俊 e.bouzu@gmail.com		実務経験 の 内 容	理学療法士（霞が関南病院、介護老人保健施設せんだんの丘）	
一般目標 （GIO）	①理学療法を行う上での運動療法の位置づけを理解できる ②運動療法の適応（対象者）を理解できる ③運動療法の目的を理解し正常人同士で体験できる				
行動目標 （SBOs）	①主要な運動療法の種類を説明できる ②主要な運動療法のメカニズムを理解できる ③運動療法を正常人で体験し、その効果を理解できる				
授業概要	①運動療法の定義、目的、一般的原則、対象、歴史 ②トレーニングの基礎理論、アンダーソン・土肥変法のリスク管理 ③運動の種類とメカニズム ④関節可動域訓練理論（関節包内運動、関節モビライゼーション、エンドフィールも含む） ⑤関節可動域訓練実技 持続的伸張、CPM、自動介助運動、他動運動、ホールドリラックス、関節モビライゼーション ⑥筋力増強運動・マシントレーニング（理論）、OKC と CKC ⑦筋力増強運動・OKC と CKC（実技） ⑧筋持久力増強運動（理論と実技） ⑨協調性運動（理論と実技） ⑩運動強度・Karvonen 法及び代謝とエネルギー代謝率・METs ⑪全身持久力（トレッドミルとエルゴメーター）（理論と実技） ⑫各種体操（腰痛体操、めまい体操、クラップ、フレンケル、コッドマン、骨盤底筋体操）理論 ⑬各種体操（腰痛体操、めまい体操、クラップ、フレンケル、コッドマン、骨盤底筋体操）実技 ⑭神経生理学的アプローチ（PNF 等）、神経筋再教育、 ⑮運動学習				
学習方略 （LS）	運動学・解剖学・生理学を復習しながら理論を学ぶこと 実技はメモを撮りながら、緊張感を持って取り組むこと				
学習評価 （EV）	最終試験（筆記試験）で総評する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学　運動療法学総論　第 4 版　医学書院				
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	物理療法学Ⅰ			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	岩渕　隆俊 e.bouzu@gmail.com		実務経験の内容	理学療法士（霞が関南病院、介護老人保健施設せんだんの丘）	
一般目標 （GIO）	物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
行動目標 （SBOs）	物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
授業概要	1 物理療法総論・意義と目的 2 疼痛のメカニズム 3 疼痛の評価 4 温熱作用 5 ホットパック、パラフィン浴の適応と禁忌・実際 6 寒冷作用 7 寒冷療法の適応と禁忌、実際 8 物理療法の臨床適用の流れ 9 頸椎牽引療法の適応と禁忌、実際 10 腰椎牽引療法の適応と禁忌、実際 11 マッサージ療法の目的と実際（上肢） 12 マッサージ療法の目的と実際（下肢） 13 リスク管理（インシデント・アクシデントレポート） 14 ケーススタディ 15 過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	他の教科で学ぶ各疾患の知識が必要となります。各教科書を参考にしながら復習し理解してください				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度、試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法学講座　物理療法学　（医歯薬出版）				
参考書	理学療法評価学（医学書院）　配布する資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	物理療法学Ⅱ			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	下舘 浩 0		実務経験 の 内 容	理学療法士（荻野病院、容生会、愛育会）	
一般目標 （GIO）	物理療法の基礎となる物理用語を理解し、説明できる 物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
行動目標 （SBOs）	物理療法の基礎となる物理用語を理解し、説明できる 物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
授業概要	1　電磁波の波長と周波数、光の法則、熱、熱伝導、 2　比熱、熱伝導率、振動、波動、音波 3　超短波・極超短波、超音波療法の適応、禁忌 4　超短波療法・極超短波療法、超音波療法の実際 5　光線とは（紫外線、赤外線、レーザー光線） 6　光線療法の種類と適応と禁忌 7　紫外線、赤外線、レーザー光線の実際 8　電流と電圧、周波数、波形と相 9　神経の脱分極、フリュウゲルの法則 10　強さ時間曲線、クロナキシー値、運動点 11　電気刺激療法の適応と禁忌 12　電気刺激療法の種類と実際 13　重力と浮力、水圧の作用、水抵抗、水深と過重負荷の関係 14　水治療法の適応と禁忌、種類 15　過去国家試験問題解説				
学習方略 （LS）	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	ペーパー試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書	配布する資料				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	義肢学			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	切断のリハビリテーションにおいて、理学療法士は、断端機能を改善させ、適合した義肢で生活動作が獲得できるよう、理学療法を実施する				
行動目標 （SBOs）	①四肢切断に関する医学的知識を理解する ②アライメントの概念を理解する ③義肢の構造と各部品について理解する ④下肢切断者の理学療法を理解する ⑤上肢切断への理学療法のかかわりを理解する ⑥社会資源について理解する				
授業概要	1. 切断と義肢の基礎知識 2. 早期義肢装着法と義足適合の流れ－アライメントの概念 3. 大腿切断・膝離断の基本と義足構造 4. 大腿義足・膝義足のアライメント 5. 下腿切断・サイム切断の基本と義足構造 6. 下腿義足・サイム切断のアライメント 7. 股離断・片側骨盤切除・足部切断の義足構造とアライメント 8. 下肢切断の評価－問題点の抽出とその統合 9. 下肢切断の機能障害と義足装着前理学療法 10. 切断原因疾患別にみた理学療法上の留意点 11. 義足装着理学療法と応用動作 12. 義手の分類と構造・機能 13. 上肢切断の評価と治療 14. 義肢装具の支給体系とチームアプローチ 15. 講義のまとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト　義肢学　石川　朗				
参考書	義肢装具学　第 2 版　千住秀明				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	装具学			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	骨関節疾患や脳・神経筋疾患などにより運動機能障害を呈した人に対して適切な装具療法が実施できるようになるために、装具の基本的な構造と機能を理解し、疾患や障害に適した装具の選択や装具療法を理解する。装具の適合についてチェックアウトの方法を習得する。				
行動目標 （SBOs）	・装具の目的について理解する ・装具の 3 点固定の原理について理解する ・装具制作の流れについて理解する ・装具療法におけるチームアプローチについて理解する ・歩行のバイオメカニクスについて理解する				
授業概要	1. 装具学総論 2. 下肢装具の部品 3. 短下肢装具 4. 長下肢装具・股装具・膝装具 5. 靴型装具 6. 下肢装具のチェックアウト 7. 下肢装具のチェックアウト−実習 8. 体幹装具・側弯症装具 9. 上肢装具と自助具 10. 車椅子・歩行補助具 11. 疾患別装具の処方（1）−脳卒中片麻痺の装具 12. 疾患別装具の処方（2）−整形外科疾患の装具 13. 疾患別装具の処方（3）−関節リウマチの装具 14. 疾患別の処方（4）−対麻痺・小児の装具 15. 講義まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト 第 2 版　石川 朗				
参考書	義肢装具学 第 2 版 千住秀明				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法特論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	3 年　後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回　（ 60 時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	総合実習Ⅰ・Ⅱを実施するにあたって、今まで学んできた知識の整理、実技の復習を実施する。臨床ではどのような場面で危険が隠れているか予測できるようになること。				
行動目標 （SBOs）	疾患特性に応じた、理学療法を展開できるよう、今までの知識・技術を整理しながら実施できる。				
授業概要	1-2：理学療法総論 3-8：脳卒中の評価および理学療法について 9-14：整形外科疾患の評価および理学療法について 15-18：呼吸器疾患の評価および理学療法について 19-22：循環器疾患の評価および理学療法について 23-26：廃用症候群の評価および理学療法について 27-30：在宅生活支援について				
学習方略 （LS）	講義、実技を含む				
学習評価 （EV）	実技テストおよびレポート提出				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	所持している教科書等				
参考書	適宜紹介				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	地域リハビリテーション論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	3 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	小原　拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（介護老人保健施設シルバー・ヘルス）	
一般目標 （GIO）	地域リハビリテーションにおける各サービスのしくみと理学療法士の役割について理解できる				
行動目標 （SBOs）	介護保険サービスと介護予防と健康増進について事例を通して理解して説明できる				
授業概要	1. 地域包括ケアシステムや地域支援事業のなかでの理学療法士の役割 2. 通所系サービスの理学療法の実際①デイケア②デイサービス 3. 地域における理学療法士の役割と地域リハビリテーション関連職種 4. 介護保険制度の理解（しくみ、要介護認定の手続き等） 5. 地域理学療法に求められる医学的管理 6. 地域での理学療法評価 7. 入所系サービスの理学療法の実際①介護老人保健施設　②介護老人福祉施設 8. 訪問系のサービス①訪問リハビリテーション（訪問理学療法） 9. 認知症の種類、中核症状と周辺症状、行動、心理、原因疾患、 10. 認知症に対するリハビリテーション（理学療法） 11. 生活環境整備 12. 介護老人保健施設のリハビリテーションの事例検討（ケーススタディ） 13. 訪問リハビリテーション（訪問理学療法）の事例検討（ケーススタディ） 14. 疾患別地域理学療法 15. 疾患別地域理学療法				
学習方略 （LS）	地域リハビリテーションは重要な位置づけです。就職施設でも理解しておく必要があります。 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 （EV）	課題レポート80%および取組態度20%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	地域理学療法学　医歯薬出版株式会社				
参考書	配布する資料及び適宜紹介				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	予防医学			授業区分	講義
学年・時期	3 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	予防的見地にたった理学療法の基本となる考え方、基礎知識、評価、アプローチについて理解できる。				
行動目標 （SBOs）	1.予防の意義について理解できる 2.各ライフステージにおける予防における理学療法の役割を理解できる				
授業概要	第 1 回　予防医学とは 第 2 回　予防理学療法と施策-行政と経済側面 第 3 回　予防理学療法と施策-健康増進事業 第 4 回　予防理学療法と施策-介護予防とヘルスプロモーション 第 5 回　老年症候群 第 6 回　認知症 第 7 回　転倒・骨折 第 8 回　フレイル・サルコペニア 第 9 回　運動器疾患 第10回　脳血管疾患 第11回　呼吸器疾患 第12回　循環器疾患 第13回　スポーツ外傷・障害 第14回　ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける予防理学療法 第15回　産業保健における予防理学療法				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 （EV）	レポート80%および取組態度20%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	15 レクチャーシリーズ　予防理学療法				
参考書	適宜紹介				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	生活環境論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	小原　拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（介護老人保健施設シルバー・ヘルス）	
一般目標 （GIO）	私たちが生活するうえで環境はとても重要である。理学療法士として地域リハビリテーションを展開するうえで、現在の社会的背景を理解し、個々に考えられるバリア、地域環境をいかに改善するための立案・提案方法を実践的に習得する。				
行動目標 （SBOs）	1：地域リハビリテーションについて説明できる。 2：地域理学療法評価について説明できる。 3：サービス種別における地域理学療法を説明できる。 4：居住環境の整備の一般知識と障害、疾患別の環境調整のポイントについて説明できる。 5：生活障害を理解し、福祉用具・社会生活用用具等の種類や活用方法について説明できる。 6：生活障害を理解し、家屋評価と家屋改修、環境整備の理由を説明できる。				
授業概要	1：生活環境論の考え方 2：日本における生活環境論の特徴と課題 3：法的制度 4：進め方 5：段差スペース床材 6：手すり建具 7：玄関アプローチ 8：廊下階段 9：トイレ 10：浴室脱衣室 11:台所食道 12：居間寝室 13：疾患別環境整備 14：基本的図面の読み方・書き方 15：まちづくり				
学習方略 （LS）	教科書および実技での学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986） カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。 ※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。				
学習評価 （EV）	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	生活環境学テキスト　南江堂				
参考書	福祉住環境コーディネーター検定試験　2級公式テキスト　東京商工会議所編				

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床実習Ⅰ（見学）			授業区分	実習
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	22 回　（ 45 時間）
担当教員 mail	教員全員		実務経験 の 内 容	#N/A	
一般目標 （GIO）	医療・保健・福祉機関の見学を主とし臨床実習指導者をはじめ関係スタッフ、対象者（患者、利用者）との関わりを通して、医療従事者としての基本的な態度や言葉遣いについて学び、また理学療法士としての資質を養うことを目的とする。病院・施設の機構・組織、理学療法士の業務及び活動分野における役割を理解することを目的とする。				
行動目標 （SBOs）	Ⅰ　理学療法の対象者との関係性構築 1. 清潔で適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる 2. 共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる 3. 周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる 4. 自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる 5. 対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる 6. 対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心掛				
授業概要	1. オリエンテーション 施設概要（組織・機能）、理学療法部門の役割、規則、業務時間 実習中の生活態度 2. 対象者（患者、利用者）とのコミュニケーションの見学・体験 指導者の評価、治療の一部の見学 3. リハビリテーション関連職種の見学や体験 リハビリテーション関連職種の業務内容の見学、体験 4. 実習記録				
学習方略 （LS）	臨床実習指導者の臨床実習Ⅰ（見学）総合判定、実習出席状況、本校教員によるデイリーノートや経験（見学）省令記録、自己学習ノートの精査、実習終了報告会（セミナー）の成果をもとに総括的評価を行う				
学習評価 （EV）					
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床実習Ⅱ（評価）			授業区分	実習
学年・時期	2 年　後期	単位	4 単位	回数・時間数	90 回　（ 180 時間）
担当教員 mail	教員全員		実務経験 の 内 容	#N/A	
一般目標 （GIO）	1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる。 2. 職場における理が羽療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚のある言動を取ることができる。 3. 理学療法の流れを理解するとともに臨床内容の意義を理解して説明をすることができる。 4. 指導者の直接監視下で学生により実施されるべき項目（水準Ⅰ）において、リスク管理、理学療法評価を実践することができる。 5. 地域理学療法の場面での経験を通して、地域包括ケアシステム（特に、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション）に				
行動目標 （SBOs）	1-① 清潔で適切な身だしなみ、ことば遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる 1-② 共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる 1-③ 周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる 1-④ 自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対 して適切に応答することができる 1-⑤ 対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる 1-⑥ 対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができ				
授業概要	1. 動作介助（誘導補助）技術 2. リスク管理技術 3. 理学療法治療技術（検査・測定技術） 4. 物理療法技術 5. 義肢・装具・福祉用具・環境整備技術 6. 救命救急技術 7. 地域・産業・学校保健技術				
学習方略 （LS）					
学習評価 （EV）	実習前後の OSCR 評価、実習指導報告書、実習報告会の内容を踏まえて、総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書					

令和5年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床実習Ⅲ（総合）			授業区分	実習
学年・時期	3 年　後期	単位	16 単位	回数・時間数	360 回　（ 720 時間）
担当教員 mail	教員全員		実務経験 の 内 容	#N/A	
一般目標 （GIO）	1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる。 2. 職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚のある言動を取ることができる。 3. 理学療法の流れを理解するとともに臨床内容の意義を理解して説明をすることができる。 4. 指導者の直接監視下で学生により実施されるべき項目（水準Ⅰ）において、リスク管理、理学療法評価、理学療法治療技術を実践することができる。 5. 地域理学療法の場面での経験を通して、地域包括ケアシステム（特に、通所リハビリテーション、訪問リハビ				
行動目標 （SBOs）	1-① 清潔で適切な身だしなみ、ことば遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる 1-② 共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる 1-③ 周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる 1-④ 自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対 して適切に応答することができる 1-⑤ 対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる 1-⑥ 対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができ				
授業概要	1. 動作介助（誘導補助）技術 2. リスク管理技術 3. 理学療法治療技術（検査・測定技術） 4. 理学療法治療技術（運動療法技術） 5. 物理療法技術 6. 義肢・装具・福祉用具・環境整備技術 7. 救命救急技術 8. 地域・産業・学校保健技術				
学習方略 （LS）					
学習評価 （EV）	実習前後の OSCR 評価、実習指導報告書、実習報告会の内容を踏まえて、総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書					